

水道スマートメーターでもっと便利に 全戸導入に向けて取組を加速します
～新たな技術検証を保土ヶ谷区、西区、中区で実施します～

政令市の共同検針の取組としては最大規模！

横浜市水道局と東京電力パワーグリッド株式会社が連携し、令和7年10月から水道スマートメーターの導入に向けた新たな技術検証（共同検針）を横浜市内で実施します。

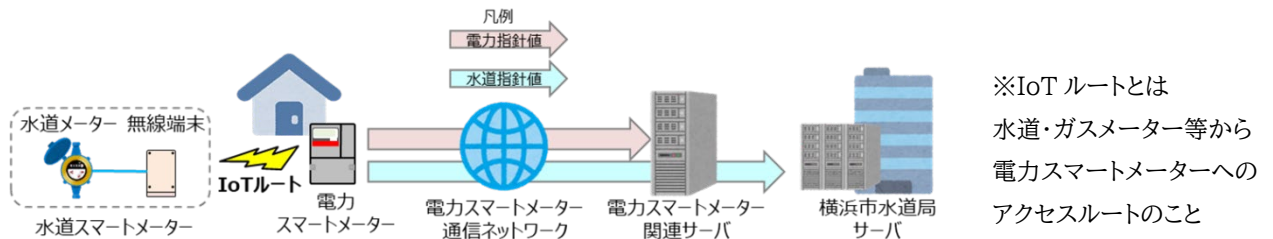
今回の共同検針の取組を通じて、水道スマートメーターの市内全域導入や全国への普及に向けて、他都市とも連携して推進します。

1 取組の概要

(1) 共同検針の技術・運用検証

既にスマートメーター化している電力通信ネットワークを活用して、『通信コストの低減』、『様々な環境下における通信の安定性』について検証します。

【共同検針のイメージ】



(2) 実施場所・戸数

設置戸数約 1,000 戸

ア 保土ヶ谷区

①市営住宅の一部(約 90 戸)、②戸建て、店舗、共同住宅(約 110 戸)

イ 西区、中区

調整中(合計で約 800 戸)

(3) 実施内容

通常の水道メーターが設置されている住居等について、水道スマートメーターへの取替えを行い、自動検針を開始します。

なお、一定期間、現行の人による指針値の確認を併用します。

(4) 実施時期

令和7年10月から

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



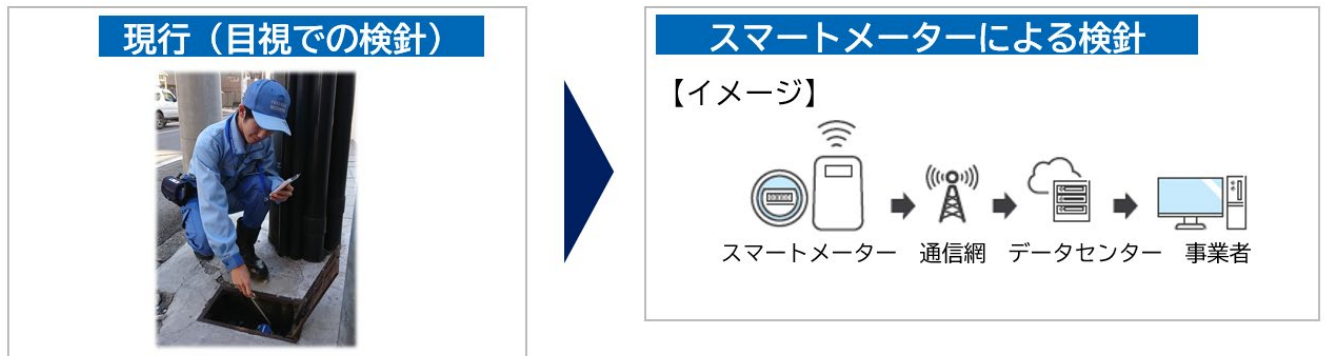
2 今後の展開

スマートメーターの導入には、コストが最大の課題となっています。一方で、コスト低減のためには、全国的な普及が必要となります。そのため、導入に向け連携している、横浜市、東京都、大阪市の3都市で、仕様の共通化等を推進してまいります。

【参考】

○ 水道スマートメーターとは

現在は、現地に検針員が赴き目視で使用量を確認していますが、使用水量の指針値を電波に乗せることで、現地に赴かずに遠隔で自動的に水道使用量の取得が可能となります。



○ 水道スマートメーター導入のメリット

水道スマートメーターの特徴から、下図のようなメリットがあります。

市民(利用者)のメリット

①使用水量の見える化

毎日、1時間ごとの使用水量データが確認できるように！

②漏水・トイレの故障などの早期発見

③一人暮らしの高齢者も安心

水の不使用などの異変を察知！見守りにつながります

④検針員の敷地内立ち入りがなくなる

水道局のメリット

①担い手不足への対応

②災害対応力の強化

震災時に迅速に断水エリアを特定でき、円滑な復旧作業が可能に！

③施設整備の最適化

使用状況をより詳細に把握することで、より効率的な設備投資につながる

④脱炭素の推進

検針票のペーパーレス化や現地訪問がなくなることによるCO2削減効果も

○ これまでの横浜市の水道スマートメーターの取組

緑区十日市場町の一部地域で、携帯キャリアを使用した水道スマートメーターの技術的な検証を実施しています。当該検証により、携帯キャリアによる自動検針の安定性は確認出来ています。

お問合せ先

水道局経営企画課担当課長（イノベーション推進担当） 大塚 将文 Tel 045-671-4886



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

